



ジョンソン・エンド・ジョンソン 社会貢献レポート

2010

Johnson & Johnson



子ども

私たちは、子どもたちの健全な成長を支える活動を支援することで、子どもたちを見守りたいと考えています。

女性への取り組み

精神疾患に対する社会的理解を促すための活動や自殺を防止するための活動への支援を通じて、当事者やその家族を支えています。



ここ

高齢者への取り

目次

4つのプログラムと活動内容	4	社員の自主活動	14
ジョンソン・エンド・ジョンソンの 社会貢献活動の流れ	8	アジアパシフィック地域での活動	16
協働事例紹介 東京自殺防止センター	10	社長あいさつ	18
プログラムに参加された 方々からのメッセージ	12	我が信条 Our Credo	20

もへの取り組み

み



女性の心身の悩みに寄り添う活動をサポートすることで、女性が前向きに力を発揮し輝ける社会を目指しています。

るへの取り組み

組み

高齢者が充実して過ごせることは、希望ある社会を形成する上で大切なこと。
私たちは、世代間の交流や共生をテーマにした活動を支援しています。



4つのプログラム

ジョンソン・エンド・ジョンソンの社会貢献活動のテーマは「健康」です。
この「健康」とは医学的な病気の有無だけを指しているわけではありません。
人の心、そして社会そのものが健康であることを目指して活動を進めています。

私たちは「子ども」「女性」「こころ」「高齢者」の4つのテーマを中心にして、
様々なプログラムを実施・支援しています。

社会全体で子どもたちを

子どもたちの健全な成長のために

「社会の宝」である子どもたちが、安全に、そして健全に成長することを願い、私たちJ&Jは活動を続けています。

乳幼児の死亡理由で最も多いのは「不慮の事故」です。子どもを取り巻く大人

が事故予防の知識を得ることで、命を落とす子どもの数を減らすことができないかと考えています。

そして成長していく子どもたちが、自分で考え、自分の責任で物事を決め、困難

10代を対象としたHIV/AIDS予防啓発



国内のHIV/AIDS感染者数は年々増加し、感染者の2割を占める若年層（10代～20代）への予防対策が特に必要とされています。正しい知識の普及・啓発を目的に、エイズ予防財団が運営する「ティーンエイジャーを対象としたHIV/AIDS予防啓発活動助成」を支援しています。

支援団体

財団法人 エイズ予防財団
URL: <http://www.jfap.or.jp/>

自殺対策に向けたネットワークの構築

さまざまな理由により自殺へと追い込まれていく方は年間3万人以上に上ります。自殺対策を「生きる支援」と捉え、自殺のない「生き心地の良い社会」の実現をめざして、法的枠組みを整えるとともに、対策のモデル作り、啓発活動や関係者のつながりづくりに力を注いでいます。



支援団体

特定非営利活動法人 自殺対策支援センター ライフリンク
URL: <http://www.lifelink.or.jp/hp/top.html>

生きることに悩む人々の心の声を聞く

深い悩みや苦悩があるにもかかわらず、社会とのつながりを見出せず、心の叫びを誰にも受け止めてもらえないまま自殺を選択してしまう方が少なくありません。絶望している人々の訴えを聴き、支えを提供することを目的に、電話相談をはじめとする多くの活動に取り組んでいます。



支援団体

特定非営利活動法人 国際ビフレンダーズ
東京自殺防止センター
URL: <http://www1.odn.ne.jp/~ceq16010/hp/top.htm>

ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社（メディカル カンパニー、コンシューマー カンパニー、ビジョンケア カンパニー）、
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社、ヤンセンファーマ株式会社が、
共同でジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会を結成し、
各グループ企業から参加する社員が中心となって活動を推進しています。

守る

を乗り越えていけるスキルを身につけられるような教育を広げていくことで、青少年を含めた子どもたちを少しでも支えていきたいと思います。

親子応急手当大会 乳幼児事故防止セミナー

AEDの普及により、応急手当への関心はますます高まっています。応急手当の普及啓発と、命の尊さを学ぶ機会として、小さい子どもと保護者を対象に心肺蘇生や怪我の手当などを体験する親子大会を開催しました。また、子どもの事故防止と、その対応について身につけるセミナーを保育士・保育サポーターなどを対象に行っています。

支援団体 公益財団法人 東京救急協会
URL: <http://www.teate.jp/>



親学習プログラム

地域のつながりの希薄化や核家族化により母親だけが子育ての責任を負うことになった結果、虐待につながる例があります。育児不安を解消し、虐待を減らすための「スター・ペアレンティング(親学習)」プログラムを普及するため、ファシリテーター養成講座を開催しています。

支援団体 特定非営利活動法人 女性と子どものエンパワメント関西
URL: <http://www.osk.3web.ne.jp/~videodoc/>

女性のこころのケアプログラム

ドメスティック・バイオレンス(DV)、虐待、モラルハラスメント、パワー・ハラスメントの被害にあう女性は毎年かなりの数に上ります。当事者だけでなく、その支援者、教育関係者などを対象にこれらの問題について考え、学ぶ講座を開催しています。また、講座のファシリテーター養成にも力を入れています。

支援団体 NPO法人 レジリエンス
URL: <http://www.resilience.jp>



音声で必要な情報を提供

活字メディアによる情報収集が困難な視覚障がい者は、日常生活に必要な情報が不足がちです。そのような情報弱者からの音声情報がほしいという声に応えたウェブサイト「声の花束」ではJ&J 社員が音訳に参加しました。

支援団体 声の花束 <http://www.koetaba.net/>
支援団体: 公益社団法人 日本フィランソロピー協会
URL: <http://www.philanthropy.or.jp/>



こころへの取り組み

こころもからだも健康でいら

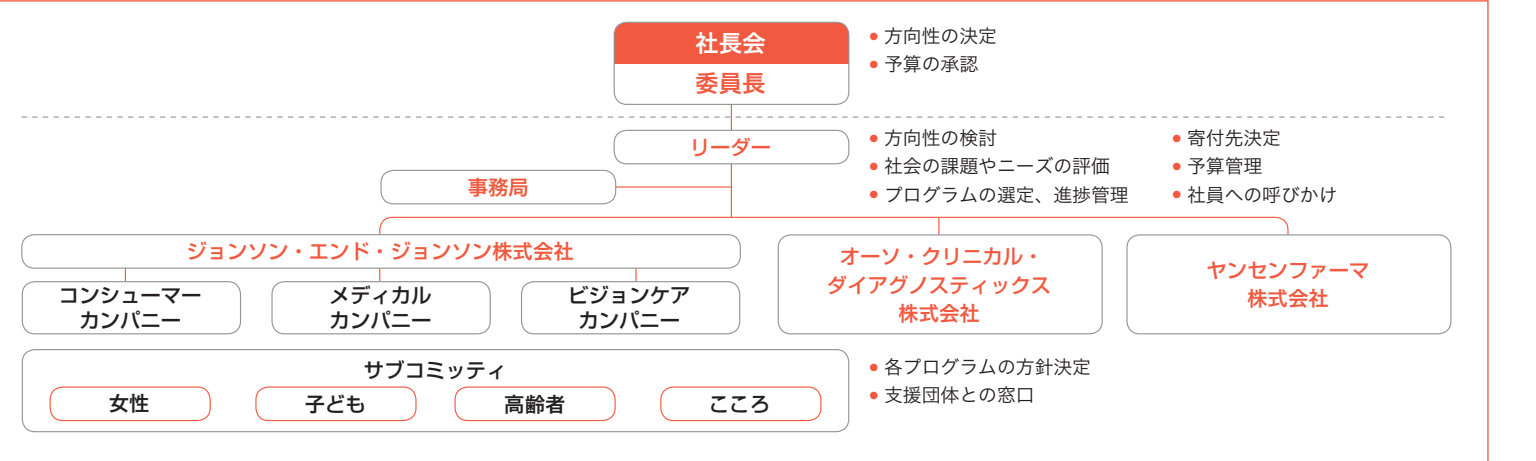
こころの問題とまっすぐに向き合う

日本の社会の中で顕在化しづらい問題、それがメンタルヘルスだと思います。自分だけでなく、相手のこころも大切にできる社会を目指し、どのようなテーマに取り組むことができるかを話し合っています。日本人の年

間自殺者数は12年連続で3万人を超え、大きな社会問題となっています。私たちは、自殺対策の推進と自死遺族へのサポートに取り組んでいます。

また、適切な治療だけでなく地域におけ

こころサブコミティ リーダー
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株)



子どもの事故防止活動

1960年以降、子どもの死因の第一位は不慮の事故・事故死であり、子どもの生命や健康をおびやかす最大の危険といえます。救急の日(9月9日)には、子どもの事故防止の一助となることを目的に、発達段階に応じた具体的な事故防止方法の学習会や講演を行っています。



支援団体 財団法人 日本児童家庭文化協会
URL: <http://www.kidsfirst.jp/>

暴力の影響を受けた子どもたちの心理ケアプログラム

ドメスティック・バイオレンス(DV)の影響を受けた子どもたちは、こころの傷のために対人関係や自我の形成に問題を抱えることが少なくありません。その傷の回復を図り、暴力の連鎖を食い止めることを目的に、ケアプログラムの実施をはじめインストラクターの養成に力を入れています。



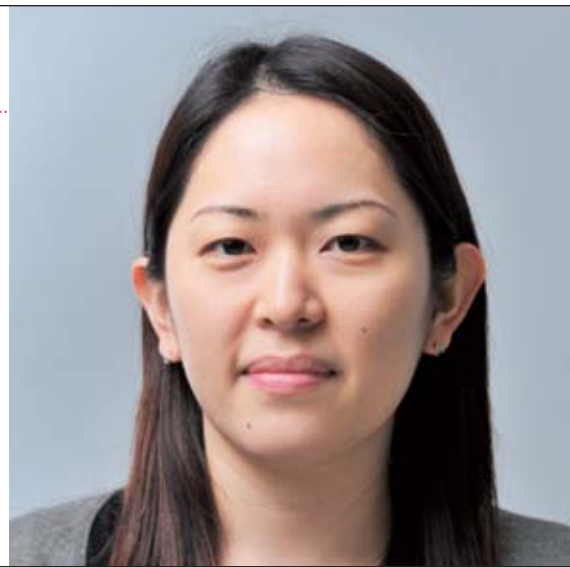
支援団体 女性ネットSaya-Saya
URL: <http://www7.plala.or.jp/saya-saya/>

女性の健康情報サイト

女性ならではの病気に悩む方のために、女性の健康に関するウェブサイト「ウーマンズヘルスウェブ」の運営支援などを行っています。このサイトは「声の花束」活動により音声情報が提供されています。



支援団体 ウーマンズヘルスウェブ <http://jfpa.info/wh/>
支援団体: 社団法人 日本家族計画協会
URL: <http://www.jfpa.or.jp/>



大塚一郎

れる社会を目指して

る理解と支援が必要な統合失調症や発達障がいの当事者と家族の方々へのサポートに力を入れています。

ADHDの子どもと保護者の支援プログラム

ADHD※による行動が周囲から理解されないために、社会生活に困難をきたす子どもや両親がいます。ADHDの小学生を対象にしたプログラムや、子育てに悩む親をサポートする「ソーシャルスキルトレーニング(SST)」の普及をサポートしています。

支援団体 NPO法人 えじそんくらぶ
<http://www.e-club.jp/>

※日本では約5%の子どもがADHD(注意欠陥/多動性障害)と言われています。新しく認められた障がいのため、日常生活での適切な対応方法は確立されておらず、多くの子どもが困難を抱えています。



高齢者への取り組み [高齢者サブコミティ リーダー ヤンセンファーマ(株) 星和弘]

世代を超えた交流が活発になるために

大切な知恵を伝えていってほしい

核家族化が進む日本では、孤独を感じながら暮らしている高齢者の方が少なくありません。豊かな経験と知識を持つ高齢者の方が、若い世代と語り合い、交流を深め、その貴重

な財産を次世代へ伝えていく場があれば、自分自身の人生もまだまだ価値あるものと再認識していただくことができるはずです。今後ますます高齢化が進む中で、世代間交流

「寺子屋回想法」という手法を用いて交流の場を提供し、何歳になっても輝く場所のある、希望に満ちた社会づくりに貢献できればと思います。



思春期のライフスキル 教育プログラム

友だちや家族との関係、タバコやドラッグへの誘惑など思春期にはさまざまな困難に直面します。青少年が自分自身の力でその困難を乗り越える力を身につけるため、ライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムの実施を主に小中学校の教育関係者を対象に働きかけています。

支援団体

特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム
URL: <http://www.jiyd.org/>



女性への取り組み

女性サブコミティ リーダー
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株) 森香奈子

女性がいきいきと活躍できるように

女性が安心して暮らしていける社会に

女性だからという理由で多くのことに悩まされるのではなく、女性であることを楽しみ、安心して活躍できる社会であることが理想です。虐待などに走らず、余裕を持って子育てができるようになるための親学習

や、女性特有の疾患に関する知識を深めて安心して暮らしていくための情報提供、暴力の被害にあった女性がつらい経験を乗り越えて自分らしく生きてくためのサポートなどを行っています。

また、性への興味や行動の入り口の時期である10代を対象としたHIV/AIDS予防啓発活動にも取り組んでいます。

ADHDの子どもたちへの集中プログラム

ADHDの小学生が、社会的に望ましい行動を習得・実践できるようになることを目的に、医療の専門家や臨床心理士が主催する集中治療プログラムの開催をサポートしています。



支援団体

特定非営利活動法人 くるめSTP
<http://kurume-stp.org/>

統合失調症の家族による家族学習会の推進

精神障がいを持つ方とその家族が主体的に生きていける社会を目指し、統合失調症など精神疾患の患者を持つ家族が講師となり、他の患者家族に知識と体験を伝える「家族による家族学習会」の普及を支援しています。同じ困難を共有する当事者同士の交流の場として貴重なものとなっています。



支援団体

特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構 (COMHBO)
<http://comhbo.net/>



世代間交流「寺子屋回想法」

高齢者と若い世代が語り合う場を設けることは、高齢者にとって自身の人生が価値あるものだとの再認識でき、自尊心の向上につながります。一方、若い世代にとっては人生の先輩から大切なことを学ぶ機会になります。この「寺子屋回想法」を全国展開するため、ワークショップを開催しています。



支援団体

上智大学総合人間科学部 老年心理学研究室

まっすぐに社会と向き合いジョンソン・

地域の問題を地域の人々と解決していきたいという考えから、ジョンソン・エンド・ジョンソン(以下、J&J)の社会貢献活動は、非営利団NPOと信頼関係を結び、プログラムを一貫して支えるのが私たちの役割です。

活動の流れ NPOとの協働

1

社会問題の見極めと 支援対象の決定

現在の社会の中で、特に支援を必要としている対象は誰か社会貢献委員会メンバーで話し合います。日本のJ&Jでは、子ども、女性、こころ、高齢者の4つの領域を中心に活動を進めています。

2

各カテゴリーで 起きている問題の精査

4つの領域の中で実際にどのような問題が起きているのかを調査します。例えば子どもの領域では、子どもの死亡理由の上位に不慮の事故があります。これは、知識を持っていれば予防できる事故であるということがわかりました。このような問題の一つひとつ洗い出していきます。

3

解決方法の 検討・NPOの選定

あげられた問題を解決するためにどのような方法が考えられるか検討します。そしてその解決方法を協働で実践できる団体を探します。選定の際には、その分野に詳しい学識関係者にアドバイスを求める場合もあります。J&Jと意思を共有できる団体と協働を開始します。



NPOとの協働で私たちが重視すること

①お互いの思いを共有する

団体と私たちJ&Jが同じ問題意識を持ち、それぞれの社会貢献活動の考え方を理解できるかが大切になります。思いを共有できていなければ方向性を明確にすることはできず、成果にもつながりません。

②明確で具体的な目標を設定する

団体と協働する際、J&Jは「目標を設定する」ことを重要視しています。目標を定めることで、達成のために何が必要か、どのような障害があるのかが分かるからです。それらを見極め、適切な支援内容を検討していきます。

③活動内容を検証する

目標を達成して成果に結びつけるためにも、活動内容の検証・見直しを重視しています。J&Jは活動によって人々に貢献し、社会に変化が起きることを目指しています。目標の達成を目指し、綿密な計画を立てながら活動を進めていきます。

activity

エンド・ジョンソンらしい活動をしたい

体(NPO)と協働で行われます。

4

目標設定・スケジュールリング・活動開始

団体と協議しながら、活動内容・支援内容を決めていきます。この際、明確な目標設定をし、達成までの綿密なスケジュールリングを組むことを理想としています。

5

社員の参加

活動を進めている中で、「マーケティングの知識が必要」「ホームページやシステムの運営にコストがかかりすぎている」などの課題があがった場合は、J&J社員が活動に関して、保有するスキルを生かすこともあります。その他、その活動に共感した社員は自主的にかかわっていきます。

6

活動内容検証

活動開始後、定期的に団体と打ち合わせを行い、進捗度を確認します。J&Jのメンバーが活動内容を検証し、より効果的な活動を実施するための提案をします。



確実に目標を達成できる支援を



私たちが生活する地域にある社会問題を、地域の人々と解決していこうという方針で、地域の非営利団体とパートナーシップを結んでいます。

社会問題が生まれる根本的・構造的な問題解決へ向けた支援を通して、ニーズ自体が発生しないための仕組み作りや、問題に直面している人々の生活が将来的によりものになるための働きかけが重要です。我々の限りある資源をより多くの支援を必

要としている人々に届けたい、そういった思いから、団体とより効果的な活動ができるよう、継続的に団体と関わり、広く社会に根付くような将来展望や、年間の活動計画を明確にし、プログラムの効果測定や改善を団体と一緒にしながら、確実に目標を達成していくための支援を目指しています。

ジョンソン・エンド・ジョンソン
社会貢献委員会 リーダー
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
ビジョンケアカンパニー 川上佳昭

事例紹介：国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター



人とのつながりを感じ、 生きる意味を考えてほしい

国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センターは、自殺を考えている方、生きることに苦しんでいる方に耳を傾け、支えることを目的に活動を行っています。J&Jは相談窓口の設置やボランティアの育成などの活動を支援しています。

団体の歴史 もっとたくさんの 声を聴きたい

国際ビフレンダーズは、1974年にイギリスで発足した国際的な自殺防止組織です。1970年から「関西いのちの電話」で自殺防止活動に取り組んでいた西原由記子さんが国際ビフレンダーズの活動を知り、渡英して国際ビフレンダーズ憲章と研修の方法を学び、1978年に大阪に「自殺防止センター」を設立しました。

1998年には年間自殺者数が3万人を突破。生きることに苦しむ人たちの声をより多く聞かため「東京自殺防止センター」が設立されました。以降、岩手と宮崎にも拠点を設置し、活動範囲を広げています。

活動内容 声を聴き、語り合う

東京自殺防止センターは、主に以下の取り組みを行っています。

- ・電話相談
毎日20時から翌朝6時まで、自殺を

考えている方、悩み苦しんでいる方の電話相談に応じています。電話相談は年中無休で行われています。電話相談の件数は年間1万2,000件以上にもなります。

・コーヒーハウス

人間関係に疲れた方々が集まり、交流する場を設けています。

・エバグリーン集の集い

身近な人に自殺されてしまった遺族の方々が、共に語り合うことで心の傷を癒すことを目的とした集会です。

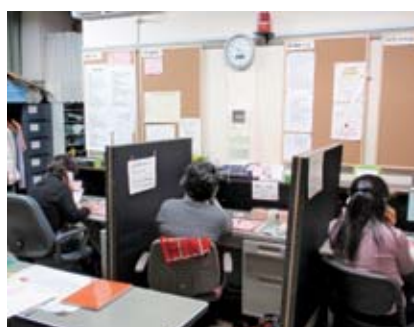
J&Jの支援内容 より効果的な 活動を行うために

・活動のスケジュールリング

ワークショップの開催や新しいセンターの設立、人材育成など、東京自殺防止センターとともに目標を設定し、スケジュールリングを行います。

・活動内容検証

定期的にミーティングを実施し、活動とその効果を検証します。



■代表メッセージ

私たちとの対話を通じてつながりを実感してほしい

コミュニケーションが 希薄な時代の中で

年間の自殺者数が初めて3万人を越えたのは1998年のことです。以来、その数を下回ったことはありません。自殺がこれだけ多いのにはさまざまな理由があります。まず言えるのが、日本が経済至上主義になったことです。ずいぶん前からですが、お金こそが何よりも大切だと考える人が多くなり、人の心が軽んじられる傾向があります。

そして「右へ習え」の教育。集団にとけ込めなかったり、周囲の人より少しでも遅れてしまうと「自分はだめな人間だ」「生きていても意味がない」と考えてしまう人が少なくありません。

私が最も心配しているのがコミュニケーションの欠如です。今は本当に便利な世の中です。でもその分、人と触れ合う機会が減りました。電車に乗っても買い物に行っても、全く言葉を発することなく用件を済ませることができてしまいます。携帯電話やパソコンがある、と考える方もいるかもしれませんが、それらは本当のひととの触れ合いとは言えないと私は思っています。



特定非営利活動法人 国際ビフレンダーズ
東京自殺防止センター
西原由記子さん

自殺は、人とのつながりが無い、孤独だと感じたときに起こることが多いのです。私たちと接することで人とのつながりを実感し、自殺への思いを一旦忘れることができる。それが私たちの願いです。

国、NPO、企業が 手を取りながら

どうすれば自殺する人の数を減らすことができますか、と聞かれることがよくあ

ります。私はこの質問に答えることができません。言えるとすれば、地道に活動が続けるしかない、ということです。自殺をなくす特効薬などありません。自殺防止活動は長いスパンで取り組む必要があります。行政とも連携しつつ、民間・NPOならではの活動を進めていくつもりです。

J&Jの社会に向き合う姿勢は企業の見本となるものであり、J&Jの支援をとてありがたく思っています。社員の方に私たちの活動に参加していただいたり、効果的なリサーチの方法など、お持ちのノウハウを提供してくださるとより効果的な活動を実践することにつながるのではないのでしょうか。

自殺する人がいる、 という事実を受け入れる

自殺の問題はどうしても目を背けられがちですし、「自殺する人は弱い人だ」という考え方で済まされてしまっている面もあります。しかし、毎年3万人を超える人が自ら命を絶っているという現実を受け入れるべきです。現実を認めた上で解決策を見つけ出ししていくことが必要ではないのでしょうか。

■電話担当者の方より



心を開き、まっさらな気持ちで

特定非営利活動法人 国際ビフレンダーズ
東京自殺防止センター
伊川 徹さん

電話してきてくださった方と接するときに私たちが気をつけているのが、先入観を持たず、無条件に相手の話を聞くことです。私たちの役割は電話してきた方をさすことではありません。心を開いて、先入観を持たずに相手の話を聞くことです。その方のつらさはその方にしか分かりません。私たちにできるの

は、話をし、距離を縮めていくことだけです。

自殺を考えている方と話していると、「なぜあなたは生きているのか」と問われている気がします。私たちが行っているのは「生きる意味を考えること」でもあると思っています。

「これから自殺します」と電話してき

た方が、後日「お陰様で元気になるました」「この間は死ぬって言ったけど、がんばって生きていこうと思います」といった電話や手紙をくださると、本当にほっとして、心からうれしくなるんです。

私たちの社会貢献活動

プログラムに参加された方々からのメッセージ： 私たちと同じ体験をもっと多くの方にしてほしい

J&Jが支援する活動に参加した方々の声をご紹介します。私たちの活動により、さらに多くの方々が健康で幸せな生活を送ってくださることを目指しています。



「統合失調症の当事者を持つ家族による家族学習会」に参加した方より
経験と想いを共有することで学び合い、
助け合うことができます

〔もくせい家族会
佐藤美樹子さん〕

混乱から受容へ

息子が発症して12年近く経ちます。発症した当初は病気に関する講演会に手当たり次第参加したり、本を読みあさることもありました。断片的な知識だけを得ても、息子の状態を統合失調症という病気として受け入れることは非常に難しいことでした。病気を拒絶する気持ちが、せっかく得た正しい知識を拒否することにもつながっていたのです。病気のことを理解したい。でも、受け入れられない。そのような葛藤がありました。自分で得た断片的な知識では病気の全体像が分からないので、病気の深刻な面ばかりに目がいき、今後どうなるのか、と余計不安になってしまいました。

家族による家族学習会では、統合失調症について、症状の経過、当事者への対応、社会資源、家族の心理ケアなど、仲間と一緒にゆっくり時間をかけて総合的に学ぶことができます。今家族に起こっていることはこれだ、過去に悩んだ経験はこのことだった、と整理されていきます。自分自身の知識と経験が整理されることで、息子の病気と冷静に向きあうことができるようになり、混乱から抜け出すことができました。本当に正しい対応はいまだに模索中ですが、そばにいる私たち家族が、本人の病気の部分、病気でない部

分、家族のサポートが必要な部分、自立できる部分を冷静に判断することが大切だと思います。それによって、自分自身の状態に混乱している当事者本人が病気を受容していく過程も見守っていけるのだと思います。

同じ悩みを持つ 仲間の輪を広げていく

家族は混乱しながら本人をケアしているので、同じ統合失調症の家族を持つ仲間と話す時間はほっとしますし、お互いの経験を共有することは学びになります。話すことで、自分の経験を自分自身が受け入れることにも



つながります。学習会に参加したメンバーは、新たに統合失調症を家族に持つ家族たちを集め、学習会を開催する担当者になっていきます。病気に関する情報を得て、家族同士が経験を語り合い、周囲とつながりを持つために同じ悩みを抱える家族同士をつなげていく。このリレーを今後も続けていきたいと思っています。



当事者ごと家族の心のケアを目的として特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構(COMHBO)が発行している月刊誌『ココロの元気+(プラス)』

「世代間交流 寺子屋回想法」に参加した方より

人と人とのつながりが社会を元気にしていきます



【 新宿区
甚野公平さん 】

初めて「寺子屋回想法」という名前を聞いたとき、昔の学びの場である寺子屋は、幼いころの良い思い出を彷彿させる言葉だと感じました。昔の体験をすることは、貧しい時代を思い出すことにもなりますが、苦勞していたころが一番

輝いていたと感じます。また、当時の苦勞を忘れずに世代の違う若者に当時の経験を語ることで、若者には現代の生活に感謝の気持ちを持って生きてほしいと思いますし、私自身もこの年まで生きてこられた幸せを実感します。

年を重ねるごとに、幸せに生きてこられた世の中により感謝するようになり、より良い社会づくりに貢献したい気持ちが強くなってきました。寺子屋回想法に参加すると、高齢者の経験を真剣に聞いて学ぼうとしてくれる真面目な若者や、我々の世代との出会いを喜んでくれる温かい若者と出会うことができます。自分も価値ある存在であると実感すると同時に、素敵なお若者に会うことで、日本の将来に希望が持てます。

自分の体験を「伝える」という作業は、相手が正しいと感じること、相手に



子どもたちと交流を図る甚野さん

喜ばれること、相手のためになることについて深く考えることになります。相手から感謝されることはどのようなことか考えながら世代の違う人と付き合うことは、脳の活性化にもなると思います。昔の寺子屋のように、世代を超えてお互いが学び合える、つながりのある地域をつくっていくことが、元気な社会づくりへの貢献につながるのではないのでしょうか。

「こころのケア講座」に参加した方より

前向きで楽しい人生を送るきっかけになってほしいですね



【 NPOレジリエンス
こころのケア講座受講者 】

配偶者から暴力を受けている時期は、暴力が始まる前のちょっとした合図を見逃さないこと、暴力の被害を最小限に抑えることが思考の中心にあり、それ以外のことは何も考えられない状態でした。望みもなく、生きている感覚すらありま

せんでした。自分と子どもの命を守ることに毎日必死で、自分がドメスティック・バイオレンス(DV)を受けているという事実気づかず、逃げることも、助けを求めることもできないのです。

そんなときに会ったのが、「こころのケア講座」でした。講座では暴力の影響や仕組みについて語られ、暴力を振るわずに物事を解決する方法は他にたくさんあり、「DVの責任はあなたにない」と証明しながら説明してくれます。衝撃を受けたのは、話したこともない初めて会った講師が、今まさに私が体験していることを「DV」として語っていたことでした。「自分はDVを受けているのか」と、やっと気がついたのです。その日は、理解者に初めて出会えた喜びで涙が止まりませんでした。

私の体験がDVであると気付ける社



ファシリテーター養成講座修了者の皆さんと

会、DVに関する認識が深まり、自分の行動や他人の暴力に気が付ける社会になれば、トラウマに苦しむ人や、命を落とす人を減らすことができるのではないかと考えています。同時に、「こころのケア講座」のような傷ついた人々を受け入れる場所が全国に広がっていけば、心の健康を取り戻し、前向きな人生を歩むきっかけをつかむこと、希望へとつながるのではないかと思います。

一人ひとりが活動の担い手

4つの重点分野以外でもJ&Jはさまざまな社会貢献活動を実施しています。
その多くは社員が自主的に行っているボランティア活動で、その輪はさらに広がっています。

■ J&Jグループとしての取り組み

緊急災害支援

地震などの自然災害によって大きな被害がもたらされた国や地域に対して、被災した人々の生活やコミュニティを支援する活動を行っています。J&Jグループ社員から集められた募金に会社からのマッチングギフトを加え、日本ユニセフ協会を通じて2009年9月に発生したフィリピン・サモア・スマトラ・ベトナムでの自然災害に対する被災者支援活動に寄付されました。



寄付活動

J&Jグループ社員がボランティアとして参加するNPOに対して、寄付を行っています。社員の社会貢献への気持ちがJ&Jの取り組みにもつながっています。

■ 各自の領域で積極的に活動に取り組んでいる社員の一例

水治訓練サークル

近所のプールで、障がい児たちが訓練する姿を見て、自分にも何かできることがないかと思い、障がい児の水治訓練に参加しています。

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
メディカルカンパニー 葛巻一久



補助犬セミナー

補助犬セミナーなどに飼犬とともに参加しています。補助犬に対する認識の向上、正しい理解につなげたいと思っています。

ヤンセンファーマ(株) 横山早織



■ JJCC およびサブコミッティによる活動

コントリビューション・ウィーク

「J&J社会貢献委員会ってどんな活動をしているの?」「私も参加できるの?」という社員の声に応え、2005年からJ&J本社にてコントリビューション・ウィークを開催しています。J&Jが支援するNPOの活動を紹介し、社員の参加を後押ししています。



食べる! ボランティア

社員に、より気軽にボランティアに参加してもらうため、クリスマス企画としてJ&J本社で「食べる! ボランティア」イベントを開催。障がいを持つ方々が作ったお弁当やパン、クッキーなどを販売。多くの社員が会場を訪れ、ほとんどの商品が完売する盛況ぶりでした。



映画上映会開催

J&J本社にて、J&J台湾が活動を支援する80を超えたライダーの台湾一周を取り上げたドキュメンタリー映画「不老騎士/Go Grandriders」の上映会を開催。上映後のトークセッションや講演会も含め、老いてもなお目標を持って活動する素晴らしさや、J&Jの海外の取り組みを学ぶ貴重な機会になりました。



「不老騎士/Go Grandriders」

■ 各カンパニー・部署による活動 必要とされていること、自分たちにできることは何か考え、行動に移しています。

古切手収集

ヤンセンファーマ(株)研究開発本部では古切手収集ボランティア活動を行っています。お菓子の空箱を利用した収集箱を各フロアに設置して協力を呼びかけています。集まった古切手は日本キリスト教海外医療協会へ送られ、得られた寄付は海外医療に役立てられています。



フィリピンへの災害支援

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)コンシューマーカンパニーは、2009年9月に発生した台風により大きな被害を受けたフィリピンに、製品を寄付する活動を行いました。



ボランティア活動の
活性化を目指して

ボランティアで得られる 楽しさ、やりがいを知ってほしい



【 オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株)
大塚一郎 】

【 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
ビジョンケア カンパニー 赤坂和泉 】

【 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
コンシューマー カンパニー 武田直樹 】

一歩踏み出せば 新しい発見がある

武田 私たちはジョンソン・エンド・ジョンソンのボランティア分科会メンバーです。今でこそ社員にボランティアへの参加を促す立場にありますが、ボランティアに参加することに最初は敷居の高さを感じていました。お二人はどうですか。

大塚 全くその通りです。興味はあっても一歩が出ない。でもいざやってみるととてもおもしろいし、自分が少しでも役立っていると思うとうれしくなります。

赤坂 私も同じです。ボランティアをやりたいとは思っていましたが、いざとなるとなかなか……。初めて参加したのが「声の花束」でした。原稿を読むだけなら私にもできるかな、とおそるおそる手を上げたのを覚えています。いざやってみると、同じ会社でも普段接することのない人と話ができたり、雰囲気も和やかでとても楽しいものでした。

大塚 よく分かります。目の不自由な方と一緒に映画を見に行くシアター同行鑑賞会のボランティア活動に参加しています。参加する前は、目の不自由な方はどのようにして映画を見るのだろう、と興味がありました。行ってみると、無線で映像の状況を解説する方がいるなど、それまで知らなかった世界を見ることができました。

武田 「鐘の鳴る丘 少年の家」に訪問するボランティアを2008年から継続しています。ここで暮らしているのは家族と一緒に暮らすことができない子どもたちです。彼らとの会話から新しい発見を得られますし、いきいきと過ごす様子を見ると感動しますよね。

より多くの社員の 参加を目指して

大塚 分科会のメンバーとしてより多くの社員にボランティアに参加してもらうことが一つの目標です。

武田 ボランティアへの意識が元々高い人がJ&Jには集まっていると思います。働きかけをしても後ろ向きな態度をとる社員はいませんよね。

赤坂 私もそう感じています。「我が信条」の第三の責任にあるように、社会に貢献することは自分たちの役割の一つであると認識しているのだと思います。コントリビューション・ウィーク(左ページ参照)への参加も積極的ですからね。

武田 ボランティアの輪が少しずつ広がっているのを実感します。「鐘の鳴る丘 少年の家」訪問のボランティアも定着してきました。これから継続していくことが大切だと思っています。

大塚 もっと多くの社員にボランティアを経験してもらい、世界が広がることの楽しさ、やりがいを感じてほしいですね。



**鐘の鳴る丘
少年の家**
家族や親族による養育が困難な子どもたちが生活する同施設をJ&Jの社員ボランティアが訪問し、子どもたちと畑仕事やスポーツをして交流を図っています。



声の花束
目の不自由な方をはじめ、活字による情報入手が困難な方々に「声」で情報を提供する活動です。J&Jの社員ボランティアが「ウーマンズヘルス」のウェブサイトを音訳して紹介しています。



シアター同行鑑賞会
目の不自由な方と一緒に映画を見に行くイベントです。映画館までの歩行誘導をJ&Jの社員ボランティアもサポートしています。

パキスタン Pakistan

子どもたちに希望をもたらす新しい学校

パキスタン北西地域にあるマンセールでは、経済的な理由により、児童の就学率は36%ほどしかありません。J&Jは、子どもたちに質の高い教育を低額費用で提供する小学校の建設を支援。2008年8月に小学校が開校しました。この取り組みは2005年に発生したパキスタン北部地震の復興支援の一部でもあります。



インド India

視覚障害者の自立を促すために

インドには約1,500万人の視覚障害者がいます。十分なコミュニケーション力やスキルを身につけることができず就労に支障を来しています。J&Jインドでは2008年から視覚障害者が自立するための活動を支援しています。J&Jの支援により実施された教育訓練を受けた方が大手企業に採用されている例もあります。



タイ Thailand

子どもたちに教育機会を提供し、健康増進を図る

タイ最北地域のバーンマーパーで生活する多くの住民はミャンマーからの難民で、タイの社会保障を受けることができません。子どもたちの多くは低体重や栄養失調で健康面に問題があり、基礎教育を受ける機会もほとんどありません。J&Jタイは、子どもたちの健康を増進し、教育の場を提供するプログラムを実施しています。

オーストラリア Australia

ガン治療を受ける子どもたちに 痛みを忘れさせる 屋外プログラムを提供

J&Jオーストラリアは、ガン治療を受けている子どもたちに対する支援を継続して行っています。病院を離れて屋外で楽しく過ごすことで、病気のことを忘れてもらうのが目的です。J&Jの社員は寄付金集めやキャンプでのボランティア活動などを積極的に行っています。



アジア・パシフィック地域での活動

世界中の人々が健康で幸せな生活を送れることを目指して

香港 Hong Kong

子どもたちの積極性を 引き出すプログラムを実施

香港の子どもの7万9,000人以上(約1割)が、失読症、書字障害および計算力障害などの特異性学習障害(SLD)を持っていると言われています。J&J香港は、SLDを持つ子どもたちにサポートサービスと教育を提供するプログラム「Lively Children, Happy Parents」を支援しています。



中国 China

女性出稼ぎ労働者に HIV／エイズ予防を啓発

中国のHIV感染の多くは雲南省と四川省で発生しています。J&Jは中国・清華大学のエイズ総合研究センターが運営する「農村部出身の女性出稼ぎ労働者に対するHIV／エイズ予防プロジェクト」に協力。性感染症への知識が少なく、特にリスクが高いと考えられている女性出稼ぎ労働者の感染率低下に集中的に取り組んでいます。



シンガポール Singapore

J&J 社員が高齢者との交流に参加

経済が発展して人々の生活水準が上がると死亡率が下がり、高齢化が進みます。シンガポールでも高齢化が進んでおり、2050年には世界で四番目に高齢者人口が多い国になると予想されています。HOPE for Seniorsプログラムは、世代を超えた交流を図り、すべての参加者が年齢を重ねることにポジティブになるよう働きかけるものです。J&Jグループの40名ほどの社員が参加し、高齢者との交流を深めました。



マレーシア Malaysia

虐待被害者の自立をサポート

マレーシアでは、虐待を受けた女性や子どもたちが、家族の支援もなく十分な収入がないため自立できないケースが多く見られます。そこでJ&Jはマレーシアで「危機的状況にある女性と子どもに対するエンパワメント」活動に取り組んでいます。虐待を受けた女性への職業訓練や教育サポート、被虐待児への遊戯療法によるこころのケアなどを行っています。



親善大使紹介

J&Jの社会貢献活動を より意義のあるものに

アジア・パシフィック地域のJ&Jでは、自ら積極的に社会貢献活動に取り組み、地域の代表として活動する「アジア・パシフィック社会貢献親善大使」を毎年任命しています。2009年度はヤンセンファーマ(株)の加藤舞が任命されました。各国の親善大使との交流やプログラム視察から得た情報や自身の体験を日本のJ&Jグループにフィードバックし、より意義のある活動を推進することが親善大使の役割です。

アジア・パシフィック 社会貢献親善大使
ヤンセンファーマ(株) 加藤 舞



責任として
ジョンソン・エンド・ジョンソンの

私たちジョンソン・エンド・ジョンソンは一企業市民として、より良い社会をつくるために貢献することを責務としています。企業としてだけでなく、ジョンソン・エンド・ジョンソンで働く一人ひとりが社会と向かい、より積極的な活動を行っていくことを目指しています。



私たちの活動を通じて
社会貢献の
輪を広げていく

社会と共に歩んでいる私たちにとって、地域社会への貢献は必ず行わなければならない重要な事項です。また、ヘルスケアに携わる企業として、社会全体が健康でなければビジネスは成立しないと考えています。事業活動、社会貢献活動と枠を決めずに、さまざまな場面で地域社会への責任を果たしていきたいと考えています。

そのために、より積極的に社会貢献活動に取り組み、当社内の活動を盛り立てていきたいと思っています。それによって多くの方々が私たちの取り組みに関心を寄せてくださり、社会貢献活動の輪がさらに広がっていくことが理想です。

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
コンシューマー カンパニー
代表取締役プレジデント
柴田 透

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
コンシューマー カンパニー

救急絆創膏などのウoundケア用品、ベビー用品、スキンケア用品、歯ブラシやマウスウォッシュなどのデンタルケア用品、目薬などのOTC医薬品など、日々の暮らしに欠かせない消費者向け健康関連製品を幅広く提供しています。



社会貢献活動は
社員一人ひとりの
成長にもつながる

私たちが日々生活し、働いている社会に対してどのような貢献ができるかを考え、活動していく文化は非常に重要です。

地域社会に参加する方法はたくさんありますが、どのような活動でも、社会の違った側面を知ることができます。自ら視野を広げ、さまざまな領域でリーダーシップを発揮することは、想像力や柔軟性を高めることにもつながると考えています。当社社員が社会貢献に尽力し、成長していくことは、ひいては社会に大きな影響を与えるはずです。一人ひとりの小さな活動が、より良い社会づくりにつながっていくことを願っています。

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
メディカル カンパニー
代表取締役プレジデント
デイビッド・W・パウエル

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
メディカル カンパニー

外科、内科をはじめ幅広い診療領域で最新の医療機器・関連製品の輸入・製造販売を行っています。医療の専門家のパートナーとして、ワールドワイドに広がるジョンソン・エンド・ジョンソングループの優れた製品を提供しています。



社会の中で 暮らしていることを 実感し、行動していく

私たちの事業活動と毎日の生活は、公共のサービスや社会と密接につながっています。これらに対して責任を持つことは当然ではありますが、ついそのことを忘れがちです。普段から意識して社会に参画していくことで、社会の中で生きていることを実感し、自らの行動に反映していくべきだと考えています。

一人ひとりが自ら活動への参加を決意し、身近なこと、できることから始めていくことが大切です。まずは個人としてできる範囲で活動し、必要であれば会社がその活動をサポートしていく。そのような仕組みを持った会社でありたいと考えています。

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
ビジョンケア カンパニー
代表取締役プレジデント
大瀧守彦



地域の人々の視点で ものを見て、考え、 活動を実践

我が信条(Our Credo)の特徴は、J&Jの事業活動に直接かかわる事柄や対象についての責任だけでなく、私たちが暮らす地域社会への責任について独立して言及していることです。ここには理想や価値基準が記されており、我が信条への理解が深まれば、自ずとあるべき姿が見えてきます。

会社は一人ひとりの社員の集合体であり、全社員が社会貢献活動の体現者です。事業活動だけでなく、何事においても、一人ひとりが地域の人々の立場で物事を熟考し、よき市民としてあるべき姿を自分なりに認識し、実践していくことが必要だと考えています。

オーソ・クリニカル・
ダイアグノスティックス(株)
代表取締役社長
日色 保



より良い社会のため 人々に寄り添い、 ともに歩んでいく

J&Jは人々の生活を改善することを目的とした事業を行っています。社会貢献活動への参加によって、社会で今起きていることを知り、認識を深め、人々のニーズを理解するのはとても重要なことです。

ビジネスを通じてだけでなく、社員一人ひとりのボランティア活動によって人々のニーズを感得し、自ら真摯に取り組んでいくことによって、大きな価値が生まれるはずですよ。人々に寄り添い、一緒に解決策を考え、活動していく。事業活動、社会貢献活動の両方を通じて、より良い社会づくりに貢献していきます。

ヤンセンファーマ(株)
代表取締役社長
トゥーン・オーヴェルステンズ

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) ビジョンケア カンパニー

1991年に日本初の使い捨てコンタクトレンズ「アキュビュー」を発売して以来、「ワンデー アキュビュー」、「2ウィークアキュビュー」バイフォーカルなど、さまざまな視力矯正のニーズに対応する製品を開発してきました。



オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス 株式会社

臨床検査業界のリーディングカンパニーとして、輸血検査、生化学検査、免疫血清検査、及び感染症検査分野に製品を提供しています。



ヤンセンファーマ株式会社

日本における医療用医薬品事業を担うヤンセンファーマ株式会社。新薬開発力で評価の高いベルギーのヤンセン社をはじめとするJ&Jグループのパイプラインを最大限に活用しながら、最先端の優れた新薬を日本の医療現場に導入しています。



我が信条

我々の第一の責任は、我々の製品およびサービスを使用してくれる医師、看護師、患者、そして母親、父親をはじめとする、すべての顧客に対するものであると確信する。
顧客一人一人のニーズに応えるにあたり、我々の行なうすべての活動は質的に高い水準のものでなければならない。
適正な価格を維持するため、我々は常に製品原価を引き下げる努力をしなければならない。
顧客からの注文には、迅速、かつ正確に応えなければならない。
我々の取引先には、適正な利益をあげる機会を提供しなければならない。



我々の第二の責任は全社員——世界中で共に働く男性も女性も——に対するものである。
社員一人一人は個人として尊重され、その尊厳と価値が認められなければならない。
社員は安心して仕事に従事できなければならない。
待遇は公正かつ適切でなければならない。
働く環境は清潔で、整理整頓され、かつ安全でなければならない。
社員が家族に対する責任を十分果たすることができるよう、配慮しなければならない。
社員の提案、苦情が自由にできる環境でなければならない。
能力ある人々には、雇用、能力開発および昇進の機会が平等に与えられなければならない。
我々は有能な管理者を任命しなければならない。
そして、その行動は公正、かつ道義にかなったものでなければならない。



我々の第三の責任は、我々が生活し、働いている地域社会、
更には全世界の共同社会に対するものである。
我々は良き市民として、有益な社会事業および福祉に貢献し、適切な租税を負担しなければならない。
我々は社会の発展、健康の増進、教育の改善に寄与する活動に参画しなければならない。
我々が使用する施設を常に良好な状態に保ち、環境と資源の保護に努めなければならない。



我々の第四の、そして最後の責任は、会社の株主に対するものである。
事業は健全な利益を生まなければならない。
我々は新しい考えを試みなければならない。
研究開発は継続され、革新的な企画は開発され、失敗は償わなければならない。
新しい設備を購入し、新しい施設を整備し、新しい製品を市場に導入しなければならない。
逆境の時に備えて蓄積を行わなければならない。
これらすべての原則が実行されてはじめて、株主は正当な報酬を享受することができるものと確信する。



Johnson & Johnson

Johnson & Johnson

ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会
Johnson & Johnson Contributions Committee

ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会は、「ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社」、「サンセン ファーマ株式会社」、「オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社」で構成されています。

〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号
TEL : 03-4411-6720 FAX : 03-4411-6794
URL : <http://www.jjcc.gr.jp/>



ノン VOC インキを使用しています。

